

令和5年度第2回県西地区保健医療福祉推進会議  
資料9

# 県西地域におけるさらなる連携について



# 前回会議でのご意見

論点	WG (R5.7.26)	地区保健医療福祉推進会議 (R5.8.22)
<p>県西ならではの 病病連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立2病院を中心とした連携イメージが描かれているが、この地域では、<u>民間病院が得意分野を持ちながら相互に連携してきた経緯もある。それを維持・強化する県西部独自の連携スキーム</u>を作り上げたい。(丹羽HP南座長)</li> <li>・ <u>様々な分野で最先端の取組を行っている民間病院もある。そうしたことを含めた病院機能を検討する場がない。地域の病院協会のようなものを作って協議に積極的に参加することが必要。</u>(山近HP杉田理事長)</li> <li>・ <u>回復期病床の拡充のため、基金を活用した公立2病院の事業に参加したい。</u>(小林HP中村事務局長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この地域にはユニークな病院が多くあるので、<u>地域医療の中でどう活用するか考えなくてはいけない。膨大な資金を公立2病院にだけ分配するの</u>に違和感がある。(山近HP杉田理事長)</li> <li>・ この地域には病院協会がないが病院の問題を議論する場が必要。(山近HP杉田理事長)</li> </ul>
<p>地域医療情報 連携NW</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人の患者が複数の疾患を抱え、また、介護施設から病院に移るとき診療情報のやり取りに時間がかかる。<u>ネットワークを作ってデータを共有する取組がほしい。</u>(公立2病院に軸になってもらいたい。)(小林HP 中村事務局長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>地域で円滑に患者を紹介しながらやっていくにはICTが必要。この地域でどういうものを導入すべきか一緒に考えていきたい。</u>県から補助が出るならば是非お願いしたい。(小田原医師会 渡邊会長)</li> </ul>

# 前回会議でのご意見

- 前回会議を総括すると
  - ①ユニークな民間病院も含めた連携体制の構築
  - ②医療介護総合確保基金の活用の在り方
  - ③ICTを活用した患者情報の共有によるシームレスな対応  
といった内容についてのご意見をいただいたと認識
  
- これらの事項について、次回ワーキンググループで意見交換を検討。